

はっ ねっ 発 熱



時間外でもすぐに受診した方がよい時

- 1 生後3か月未満の赤ちゃんに38度以上の発熱がある時
- 2 冷やしたり、熱さましを使ってもグッタリして、顔色が良くない時
- 3 息づかいが荒く苦しそうな時
- 4 何回も吐いたり、下痢している時

※こどもはよく熱を出します。発熱したからといって、あわてる必要はありません。熱以外の症状をよく見てください。

※熱が出る前に手足が冷たく、ブルブルふるえることがあります。これはケイレンではなく悪寒（おかん）という症状です。少し暖かくしてあげて、熱が上がった頃に熱さましなどを使用してください。発熱は感染に対して抵抗する反応ですから、むやみに解熱剤（熱を下げる薬）を使用する必要はありません。

ひきつけ



時間外でもすぐに受診した方がよい時

- 1 初めてのひきつけや、高熱を伴って長く続く時
- 2 数分でおさまっても、またくり返す時
- 3 変なうわ言をいい、意識がはっきりしない時
- 4 頭部打撲の後

(できれば脳神経外科受診が望ましい)

※ケイレンは小児科医でも心配な症状です。あわてず、衣服をゆるめ、吐いた物を飲み込まないように顔を横に向けましょう。

始まりの時間を確認して、ガクンガクン、ピクピク、ツッパルなどのかたちをよく見てください。